

平成25年11月6日

鉄道局国際課

タイ王国都市鉄道プロジェクト（パープルライン）の我が国企業による受注について

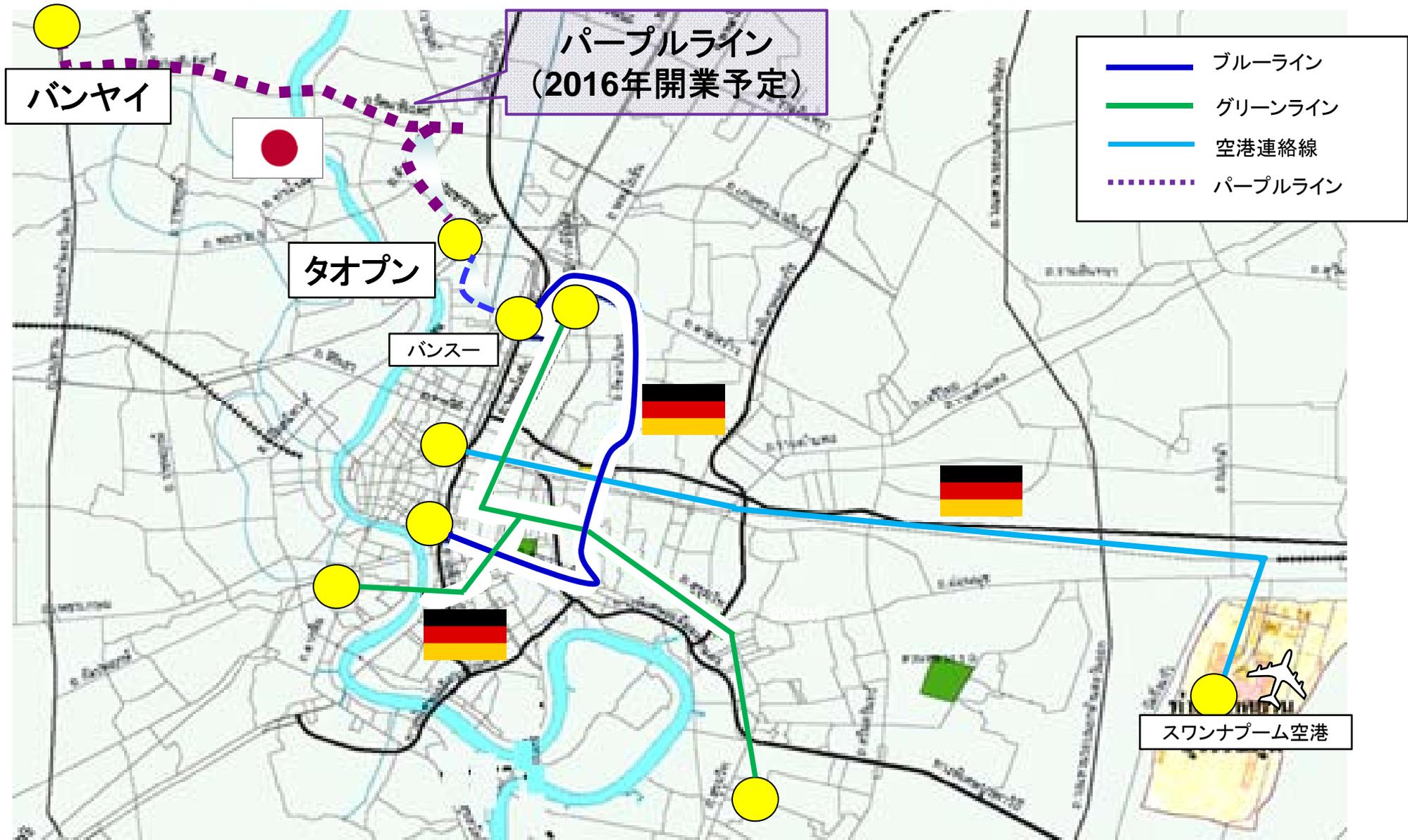
- 本日、JR東日本等から、タイ王国バンコク市内の都市鉄道プロジェクトである「パープルライン」の鉄道システムの供給・保守請負業務について、我が国企業連合（丸紅・東芝連合）が受注した旨、発表されました。
- 本プロジェクトの受注により、タイ王国バンコク市内の都市鉄道に、初めて日本の車両（総合車両製作所）が導入されることになるとともに、日本の鉄道事業者（JR東日本）による海外鉄道プロジェクトへの事業参画が初めて実現することとなります。
- 本プロジェクトについては、本年9月にも太田国土交通大臣からタイ王国チャート運輸大臣にトップセールスを行ったところです。

【プロジェクトの概要】

- タイ王国バンコク北部のバンスー地区と北西郊外のバンヤイ地区を結ぶ計画の鉄道路線（約23km、16駅）。
- 今般、我が国の企業連合が受注した鉄道システムについては、パープルラインの運営主体であるタイの鉄道事業者（BMCL）が調達。
- 土木・軌道整備について円借款供与（一部工区において、東急建設等日本企業が受注。）。

【問い合わせ先】 鉄道局国際課

担当 山澤・浅井
代表 03-5253-8111（内線：40224）
直通 03-5253-8528
FAX 03-5253-1635



※既に開業しているバンコク市内都市鉄道(ブルーライン、グリーンライン及び空港連絡線)については、すべて、独シーメンス社が車両、信号システムを供給。